

子どもの
いのちを守る
ママになる！



Sfm防災★ママブック

子どものいのちを守るために、
ママにしかできないことがあります。

Stand for mothersは東日本大震災の被災地のママと子どもへの物資支援を機に立ち上げた、ママによるママのための支援コミュニティ。物資支援を受けた東北のママたちが「こんな思いを二度と他のママにさせたくない」と、全国のママたちと協力して、被災地のママの経験から学び、備え、子どものいのちを守るママになるための「防災★ママブック」を作りました。

「防災★ママブック」とは？

被災地支援活動を通じて生まれた被災地ママと全国のママたちの交流の中で、被災経験をしたママが「1000年に一度の地震を体験した私たちの経験を集めて、今度は支援してくれた全国のママたちの役に立ちたい！」という思いを込めて、Sfmが企画制作した小冊子。「災害時、小さい子どもを持つママはどのような状況に置かれるのか」「ママとして子どもを守るためにどうしたらよいか」など、体験したからこそその知恵は小さい子どもを抱えるママにとっても役立ちます。（英訳版もあります）



★防災ママブックの入手方法★

個人の方には3部まで無料で（送料は着払いになります）、企業や団体様には1部200円、10冊からお分けしております。Sfma.jpの「お問い合わせ」より、題名に「防災ママブック希望」とお書きになり、必要事項（①郵便番号 ②ご住所 ③お名前 ④メールアドレス⑤ご連絡先（お電話番号）⑥防災ママブックやSfm活動ママへのメッセージ）をお書き添えの上、お申し込みください。

～Stand for mothers（スタンドフォーマザーズ）とは～

2011年、被災地のママ支援を機に活動をスタート。「困っているママがいたら笑顔になれる方法を一緒に考え、行動する」をモットーにママを取り巻く社会課題の解決に向け様々な活動を行っています。ママと子どもと一緒に無理なく参加できるソーシャルアクションが注目を集め、テレビや新聞等各種メディアにも取り上げられています。

Stand for mothers
ママたちがつくるママたちのための支援コミュニティ

「なんとかなる」では、甘すぎます！

～被災地のママの経験から学ぶ、備える～ 乳幼児ママのための Sfm防災★ママワークショップ

- 巨大地震から子どもを守るためにはどうしたらいいの？
- 子どもがいる家はどんな備えが必要？本当にこの備えで大丈夫？
いろいろ調べるけれど、何がいいのかわからない・・・そんなママに！

★乳幼児ママは「たった一人で」子どもを守る？？？

巨大地震はいつどこで起こるかわかりません。東京では、帰宅困難者を減らすために、企業内待機条例が今の3日から一週間になるかもしれないそう。ということは、パパは数日間帰ってきません。その間はママが一人で子どもを守らなくてはなりません。

★乳幼児ママは「避難所に入れない」？？？

被災した東北ママの話では、避難所に一番最初にたどり着くのは、若くて健康な男性だそう。乳幼児を抱えたママは到着が遅れ、体育館の端など不便な場所しか確保できなかったそうです。

★そんな乳幼児ママのために、新しい形の「体験型防災セミナー」誕生！

赤ちゃんを抱っこするだけで、身一つで逃げるのとは違い、ママは「災害弱者」になってしまいます。保育園や幼稚園、小学校では防災訓練がありますが乳幼児ママにはそういうものはありません。

いざという時のために、乳幼児ママにも子どもと一緒に安全な場所に逃げたり、数日間過ごせる防災能力を身につけ、自立的に動けるママになってもらうことは、地域やマンションコミュニティにとっても急務といえます。

地震がきてからあわてないために！防災グッズや防災食づくりを体験したり、実際に被災した経験を持つ乳幼児ママの経験を学んで「ママの防災力」を上げ、あなたも子どもを守れるママに！

Sfm防災マプロジェクトママが、ママのために楽しくためのなるワークショップを実施いたします。



対象：乳幼児を持つママ、子どもを持つママ、防災に興味がある方

実施人数：ママと子ども 15組～

内容：ママによるママのための防災講座、防災グッズ体験、防災食試食、子どもと一緒に防災リトミックダンス、被災体験のある東北Sfmママを招いてのトークセッション、防災シミュレーションワークなど、ご要望に合わせてアレンジします。参加ママには「防災★ママブック」をプレゼント。

費用：場所や時間、講師ママ派遣人数などにより個別にご相談

実施団体：(社) Stand for mothers

東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル2階

※詳細はSfma.jp「問い合わせ」よりお問い合わせください。

